

令和5年度 国語科 授業改善推進プラン

大田区立志茂田中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・漢字検定や校内漢字テストを通じて漢字力の向上を図った結果、第2学年においては成果が見られた。

(2) 課題

- ・論理的な文章の読解力向上を目指し、日々の授業に取り組んできたが、文章全体と部分との関係を注意しながら内容を捉える力においては課題が残った。
- ・全ての学年で、昨年度を下回り、基礎学力向上という面で課題が残っている。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	漢字の書き取りと漢字を読む力、及び、言語文化に関する問題の正答率が低い。説明的な文章や文学的な文章の読み取り問題の正答率が高い。文章を書く問題の正答率も各平均より高い。	例年の傾向であるが聞き取り問題の正答率が低い。	/
第2学年	説明的な文章の内容を読み取ることに課題があった。漢字の書き取りの正答率は他の学年より高い。	知識・技能の観点において前年度を上回った。他の観点においても目標値を上回っている。	聞き取り問題の正答率が低い。漢字を書く力、読む力の正答率が低い。
第3学年	漢字の書き取りと文章を書くことに課題があった。	書く力の観点において目標値を大きく上回った。漢字を書く力において前年度を大きく上回った。	知識・技能の観点において目標値を下回った。

(2) 分析 (観点別)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	殆どが目標値を上回っている。漢字の書き取りの力を伸ばす。	目標値を上回っている。文章を書くことに苦手意識が見受けられる。	全体的に目標値を上回っており、主体的に学習に取り組む態度は身に付いていると思われる。
第2学年	漢字の読み書きを始め言語事項の項目はいずれも目標値を大きく上回っている。	目標値を上回っている。説明的な文章を読み取ることに苦手意識が見受けられる。	全体的に目標値を上回っており、主体的に学習に取り組む態度は身に付いていると思われる。
第3学年	目標値を上回っているものの漢字に関しては苦手意識が見受けられる。	目標値に達していない。文章を書くことに苦手意識が見受けられる。	目標値を下回ってしまっている。

3 授業改善のポイント (観点別)

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第1学年	漢字の読み書きや文法事項についてデジタル教科書やタブレットを活用し、定期的な小テストも行うことで語彙力の向上と読解力の基礎の定着を図る。	読み取った内容を的確に表現する能力を養うため、作文指導を計画的に行い、生徒同士で推敲し合うことで自分の文章を見直す習慣をつける。	日頃の授業の中で、学習目標を明確にし、日常生活に活かせる国語を意識させる授業を心掛け、学習意欲の更なる向上を目指す。
第2学年	漢字の読み書きや語彙を豊かにする指導をデジタル教科書やタブレットを利用して引き続き行う。 話の内容を正確に聞き取る力を養うため、普段からメモをする習慣を付けさせ、聞き取りテストも継続的に行う。 必要に応じて個別補習を行う。	書く力を養うために自分の考えを言葉に書く練習や語彙力の向上のための作文指導を一人一人に行う。	漢字検定の受検奨励を行い、日常的な生活言語を大切にする姿勢が身に付くような授業を行い、国語に対する関心を高める。
第3学年	既習の言語事項について、デジタル教科書やタブレットを活用し、繰り返し学習を行う。 学習意欲を高められるような振り返りテストを定期的に行い、基礎の徹底的な定着を図る。	文章を書くという苦手意識を克服するために、語彙力の向上と身近な題材から書く課題作文や小論文指導を行う。 また、表現についての指導も適宜行う。	国語の学習が、今後の日常生活の中で大切な能力になることを自覚させ、今後の日常生活に活かせる授業を創造する。